

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
柔道整復学1						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・昼間部	1年	後期	片橋 るみ		○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	臨床柔道整復学			座学	2	21
科目概要						
柔道整復の臨床理論の知識を身に付ける。 鎖骨部・肩関節部・上腕部等の骨折、脱臼、軟部組織損傷について理解し、発生機序、特徴、症状、治療法等を説明できるようにする。						
目標						
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鎖骨骨折、肩鎖関節脱臼、上腕骨外科頸骨折、肩関節脱臼、腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱損傷、上腕骨骨幹部骨折、上腕骨顆上骨折など鎖骨部から上腕部の外傷を学ぶ授業である。各損傷における発生機序、分類、症状治療法等について理解し、説明できるようにする。					
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 鎖骨骨折の筋と転位の関係を選択できる。 2. 肩鎖関節脱臼の分類を選択できる。 3. 上腕骨外科頸骨折と肩関節前方脱臼の違いを選択できる。 4. 上腕骨骨幹部骨折の筋と転位の関係を選択できる。 5. 上腕骨顆上骨折の特徴、転位、注意点を選択できる。				
履修に必要な予備知識や技能						
医学用語の基礎知識 運動器の解剖						
教科書・参考書						
柔道整復学理論編・実技編 解剖学						
受講上の注意						
私語は慎むこと スマートフォン等の電源を切るか、マナーモードにしておくこと 復習が大切です。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験 <small>(小テスト チェックテスト)</small>	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100					100
中間試験50% 期末試験50%						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	鎖骨部の機能と解剖 鎖骨骨折			p.420 pp174-175	筆記用具	
第2回	鎖骨骨折			pp176-178	筆記用具	
第3回	肩甲骨の骨折			pp179-181	筆記用具	
第4回	上腕骨近位部の骨折			pp424-425 pp181-183	筆記用具	
第5回	上腕骨近位部の骨折			pp184-188	筆記用具	
第6回	上腕骨骨幹部骨折			pp188-189	筆記用具	
第7回	上腕骨骨幹部骨折			pp190-192	筆記用具	
第8回	肘関節部の解剖と機能 上腕骨顆上骨折			pp426-428 pp193-196	筆記用具	
第9回	上腕骨顆上骨折			pp197-199	筆記用具	
第10回	上腕骨外顆骨折 上腕骨内側上顆骨折			pp200-203	筆記用具	
第11回	試験				筆記用具	
第12回	鎖骨の脱臼			pp420-422 pp300-302	筆記用具	
第13回	肩関節部の機能と解剖			pp420-423	筆記用具	
第14回	肩関節脱臼			pp303-305	筆記用具	
第15回	肩関節脱臼			pp306-307	筆記用具	
第16回	肩関節脱臼			pp307-310	筆記用具	
第17回	肩関節部の軟部組織損傷			pp350-354	筆記用具	
第18回	肩関節部の軟部組織損傷			pp355-358	筆記用具	
第19回	上腕部の軟部組織損傷			pp359-361	筆記用具	
第20回	試験				筆記用具	
第21回	解答解説				筆記用具	
<small>本講義との関連について</small> 接骨院、整形外科クリニックでの勤務、研修での経験を通して、講義します。						
メールアドレス						
katahashi@nihonisen.ac.jp						